

第38回三豊市子ども・子育て会議 会議録（要点）

日時	令和7年3月17日（月）14時00分～14時40分
場所	三豊市役所 危機管理センター2階201・202会議室
出席者	【委員】15名中9名 元井委員（会長）、前田委員（副会長）、金山委員、藤田委員、田井委員、白川委員、喜田委員、米田委員、宮崎委員 （敬称略、順不同） 【事務局】 健康福祉部：田中部長 子育て支援課：千代課長、藤川課長補佐、富田課長補佐、細川副主任 保育幼稚園課：橋村課長、森課長補佐、富田副主任 教育総務課：森課長
会議次第	1. あいさつ 2. 議題 （1）パブリックコメントの結果について （2）「三豊市こども計画」（仮称）最終案について 3. その他
開催形態	公開（傍聴者：0名）
会 議 概 要	
事務局	○開会 ○会長あいさつ ○議事 議題1 <u>パブリックコメントの結果について</u> 提出があった意見の内容と回答案について説明 ①P40 食育の推進 ②P30 子育て応援サービス券支給事業 ③P32 地域における子育て支援サービスの充実 ④P39 小児医療の体制づくり ⑤定住促進や家の建設に関わる内容について
事務局	議題2 <u>「三豊市こども計画」（仮称）最終案について</u> ・就学前教育・保育事業の「量の見込みと確保方策」については、令和6年度の面積要件及び保育士要件、人口推計、利用見込みに基づいて算出していたが、香川県に提出している他の計画との整合性を図る必要があり、資料2のとおり3号認定の1歳・2歳の確保方策の数値を修正する。 ・計画の名称は、仮称であった「三豊市こども計画」をそのまま使用する。 ・表紙は計画名・市章・策定年月日を記載した簡略化したデザインとし、冒頭に市長挨拶文を追加する。

	・子ども・子育て支援法第 61 条第 9 項の規定により、市町子ども・子育て支援事業計画の策定については、あらかじめ県に協議する必要があるため、香川県に提出を行う。県の協議後、必要な決裁を経て、4 月中にＨＰで公開する予定。
会長	今の説明についてご質問、ご意見等があればお願いしたい。 意見がないため、これで本日の議事は終了としたい。 ○委員挨拶
A 委員	食育の推進について、民生委員として高齢者の方と接する中で、体調が悪い方に話を聞くと、若いころの不摂生が原因になっていることが多い。 また、こどもと接する中で、お米をしっかりと食べているこどもは健康に過ごしているケースが多いと感じる。費用がかかるかもしれないが、今後も食育の推進について検討していただきたい。
B 委員	出生率の低下については、保育所を利用する保護者が多いので、これまであまり実感がなかった。今後も保護者がより働きやすく、こどもを預けやすい環境になるように、保育所内でも「こどもまんなか」の共通認識を持ち取り組んでいきたい。
C 委員	これまでは、幼稚園にこどもを通わせているだけだったが、今回会議に初めて参加することで、市の考え方等が分かり良い機会になった。
D 委員	今回初めて会議に参加し、課題がたくさんあることが分かった。今すぐ解決できないかもしれないが、今後もいい方向に進んでいって欲しい。
E 委員	今回初めて会議に参加したが、市が「こどもまんなかのまち」の基本理念に基づき、様々な課題を解決していこうとしている姿勢を感じることができた。また、一保護者として 10 年前の子育てと今の子育てを比べると、状況は日々変化していることを実感した。課題は多いが、今後も三豊市が「こどもまんなかのまち」が実現できるようにお願いしたい。
F 委員	10 年前の子育てと今の子育てを比べると、状況は大きく変わった。 自分自身の考え方等も成長したし、市も前向きに検討している。こどもが減っているのは悲しいが、「子育てするなら三豊が一番」だと思っているので、今後も情報発信等で保護者へ周知をお願いしたい。
G 委員	第 1 回目の会議から参加しているが、市が細かいところまでいろいろ考えていることが分かるため、参加できてよかった。企業でも、福利厚生やこどもに関する手当が良くないと子育てが大変という話も聞くので、今後も企業内でより子育てしやすい環境づくりとなるよう検討していきたい。
H 委員	第 1 回目の会議から参加しているが、子育ての環境は良くなってきており、今の環境が羨ましく感じることもある。今後も、ひきつづき子育てしやすい環境づくりに取り組んでいただきたい。

	○次回の日程について 現在の委員の任期が7月末までの予定のため、来年度の会議は新規の委員を任命後、8月以降に開催する予定。 ○部長挨拶 ○閉会
--	---